

『私の趣味 釣り と タヌキ と の 出 会 い 』

老後は自分の趣味など考えることもなく、日々散歩などしているうちに利根川の堤防まで行くようになり、川で釣り人の竿先が曲がり、コイ、へらぶな、ナマズを釣り上げている光景に出会いました。こんなおもしろい遊び方はないと気がつきそれから、近くの釣り道具店に行き、いろいろな仕掛けタネを見ているとおもしろいそれぞれの形があり、そのうち自己流で作ればおもしろいだろうと思いながら日々釣具店に通いました。

仲間に聞いたところ、皆はお金をかけない遊び方をしなければ先が長いから大変だよと云い、先輩はいろいろな廃物品を利用して、試行錯誤しながら作ったものを見せてくれました。

自分流の仕掛けを作り、初めて利根川で釣り始めたところ最初に大きい、ナマズ コイ、などが釣れました。釣り仲間もびっくりしましたね。それで毎日のように、おにぎり・お茶など持って行き、川の土手で食べるものは何でも美味しく時にはカンビールで、楽しい一日を過ごす発見でした。

4～5年前には利根川にタヌキが出るようになり、釣れたナマズなど置いておくと毎日のように現れるようになり喜んで食べてくれるので、タヌキのために利根川に行くようになり、携帯カメラで撮れるぐらい、近くに来るようになった時の写真です。この写真をカメラ店（イトーヨーカ堂内）が気に入り、「飾っていいですか？」と聞かれたのでお店に飾っていただきました。これも趣味とタヌキの出会いかもしれません。



利根川のためき親子

川よりも海で釣った魚を食べて見たくなり、仲間と一緒に夏は早朝に海に行くようになりました。防波堤に6時ごろ着いた頃の時間は回流魚のアジ、イワシなどが釣れます。

さっそく自分で作った“サビキ釣り仕掛け”で始めたところ、おもしろいように一度に5～6匹釣れ、クーラーに入れる暇もなく堤防に釣り上げ、短時間に釣れたアジの思い出は今でも忘れません。また、港には底引き網船が帰る時間になればイワシ、アジなどをトラックに積み替える時、網からこぼれた魚を拾い集め、釣りどころではありませんでした。クーラーいっぱいにして持ち帰り、イワシのつみれ、アジの南蛮漬けなど作り、お酒のおつまみとして冷凍保存して夏のビールには最高でした。最初の海つりはいまでも忘れない思い出になっています。

平成27年5月

岡部芳光